

苦情窓口案内

施設に対するご意見、ご要望は、相談員までお気軽にご連絡ください。

相談員・・・平野、小方
電話:052-217-8715

1月～3月の苦情件数: 0件

また、外部の連絡先として以下の窓口もあります。ご参考にしてください。

- ・愛知県国民健康保険団体
介護サービスに関する相談
電話 052-971-4165
- ・名古屋市
健康福祉局高齢福祉部介護保険課指導係
電話 052-972-2592

介護福祉士試験結果

1月末に、当施設の職員が介護福祉士の資格試験を受けました。(介護福祉士とは介護を必要とする方がたのさまざまな生活行為・生活動作を支援し、支える知識と技術を有する介護の専門資格です。)受験生たちが介護福祉士試験に合格するために、施設が過去問を提供したり、勤務時間中に模擬試験を実施したりと施設全体でサポートし、受験生たちも仕事の後に残って勉強をするなど精一杯努力した結果、無事3名の職員が合格することができました。試験で学んだことを活かしていくことがこれからの課題です。



職員コラム

今年、私は介護福祉士の資格試験を受けました。結果、無事合格することができました。合格することができたのは、様々な人達のサポートがあったからだと思います。勤務時間中に実践形式で試験をさせていただいたり、わざわざ対策本を用意し問題を間違えても解説してくれたり、感謝しきれないサポートの数々でした。他にも勤務時間後、居残りして勉強している時も、励ましの言葉や差し入れをしてくれる上司や仲間もいて頑張れました。施設の社員の方たち、特に母親のように気にかけてサポートして下さった看護部長さんにはとても感謝しています。ありがとうございました。今度は自分が誰かの為に役に立つことが出来ればと思っています。これからも宜しく願い致します。

編集後記

今年の桜は観測史上最も早い開花となったそうですが、私はこのゆうあい通信の表紙を飾る桜を撮るべく、桜の開花を今か今かと待ちわびていたせいか、寧ろ例年より待たされた気分です。早いものでこのゆうあい通信も今号で20号目、5年目の最後の号となります。ゆうあい通信をここまで続けてこられたことを素直に嬉しく思います。また、ゆうあい通信を愛読してくださっている読者の皆様には心より御礼申し上げます。コロナ禍で施設への入館、入居者への面会を制限している今、このゆうあい通信が読者の皆様に有意義な広報誌となるよう執筆者一同努力していきますので、今年度もよろしくお願い致します。

ご寄付ありがとうございました

2021.1月から3月 受付(順不同)
村上朱美様

ゆうあい通信 2021年4月(第20号)

編集・発行 社会福祉法人 大同福祉会 特別養護老人ホームゆうあいの里大同

〒457-8512 名古屋市南区白水町20番地 TEL052-612-3030(代表) FAX052-612-3076

ゆうあい通信

2021年4月(第二十号)



【理念】

人の心を大切にし、皆様に安らぎと感動を提供することが、私たちの使命です。

【基本方針】

- ・利用者様の尊厳を守ります。
- ・安全を最優先します。
- ・質の高い介護サービスを提供します。
- ・地域社会に貢献します。

新年度の挨拶

桜満開の季節が来ましたが、世の中、新型コロナ感染が収束する気配が見えず、気が晴れない状況が続いております。我々の施設は高齢者施設であり、新型コロナ感染対策に細心の注意を払って運営してまいりました。ご家族の皆様や入居者には、面会制限などの当施設の方針をご理解いただき、コロナ感染の発生を完璧に抑えることが出来ています。ひとえに皆様方のご協力のお陰と感謝申し上げます。面会の回数が少なくなった分、入居者の生活充実に私たちは努力してまいりました。特に大きい事故もなく、感染症の発生もなく、褥瘡発生の防止もでき、入院件数を激減させたことが誇りです。さらに、外国人技能実習生を受け入れ技能指導したところ、非常に優秀なことが判明し、介護サービスの充実に繋げることが出来そうです。本年度はこれまで実践したことを継続し、満足のいただける施設運営を目指します。新型コロナ感染が収束するまで山谷があると思いますが、皆様のご協力、よろしく願い申し上げます。

業務執行理事 入江京子

新型コロナ予防のために

3/10から制限付きの面会を開始しました。1日3組の予約制、1度にお二人までで面会時間は10分間、1家族1か月に1回の面会とさせていただきます。2月に出された緊急事態宣言が解除されたとはいえ、感染状況はまだ収束と言えるものではなく、変異株の感染も確認されています。昨年度から面会制限が続き、長期間ご家族と入居者が自由に面会できていない現状を職員も心苦しく感じているのですが、入居者の健康を守るために必要な処置ですので、ご家族様にもご理解、ご協力いただきたいです。勿論、面会制限の他にも手洗いや手指消毒、施設内清掃(手すりや扉等の消毒)、職員のマスク着用といった普段の感染対策も徹底して行っています。その甲斐もあり、当施設は未だ感染者0の状態が続いています。名古屋市の高齢者施設からも複数感染者が確認されている中、感染者0を保っているのはこうした対策の成果です。入居者の健康、安全を守るため、職員も引き続き全力で感染予防対策に取り組んでいきます。



看護科の目標

「高齢者に多くみられる病気は？」という、先ず上がってくるのが、「誤嚥性肺炎」と「尿路感染症」です。実際、当施設でも発熱がみられると、多くの場合、誤嚥性肺炎か尿路感染と診断されます。昨年は、誤嚥性肺炎予防に力を入れ、口腔ケアの徹底と、安全な食事介助の取り組みを行いました。その結果、肺炎による入院件数を減少させることが出来ましたが、残念ながら尿路感染症による入院は数件ありました。

また、高齢者は皮膚のバリア機能の低下による皮膚

そこで、今年度の看護科の目標は、尿路感染症予防に重点を置き、職員全員の陰部洗浄技術アップによる清潔保持の強化と、水分摂取量のアップに取り組めます。その結果、尿路感染症を発症しないと共に、オムツかぶれによる皮膚トラブルもなくなるように頑張ります。



介護科の目標

私たち介護職員の今年度の目標は「一人ひとりに向き合ったケア」の提供です。昨年よりコロナの影響で外部のボランティアを招いての行事イベントや散歩外出は中止となり、入居者の皆さまにとっての余暇活動の楽しみが以前より減ってしまいました。入居者がより豊かに生活して頂けるよう、今年には密を避けても楽しめるレクリエーションの企画や行事、

料理イベントなどを企画していきます。コロナ禍だからこそ様々な工夫を考え入居者の方が少しでも笑顔になれる介護サービスを提供していきます。



相談支援課の目標

2020年度は新型コロナウイルス感染防止対策で、ご家族の面会を中止したり、時間や頻度を制限せざるを得ませんでした。一人が感染するとクラスター（集団感染）に発展する恐れや、高齢者施設では、重症化のリスクも高いといわれています。入居者の健康を守るために、2021年度も引き続き面会制限等実施せざるを得ないです。

自由に面会できない中で、ご家族の不安を少しでも取り除けるように、施設とご家族を繋ぐのが、相談支援課の役割です。入居者のご様子を迅速にお伝えすることを一番の目標として取り組みます。



栄養科の目標

「入居者全員が楽しめる食事イベントの強化」を第一の目標に取り組んでいきます。今年度はコロナ禍で遠足や外部の人を招いてのイベントが中止になってしまっています。その分、施設内で楽しめる食事イベントをより盛り上げていきたいと考えています。入居者に食べたいものを伺うと、昔よく食べていたおやつや、家族が好きだったもの名前が挙がり、食べ物にはひとりひとりの思い出が詰まっているのだなと感じます。そんな気持ちや要望を取り入れた食事のイベントを開催していきたいです。最近では、カレンダーを見ながらイベントの日を待ち遠しいと言ってくれる入居者も増え、とても嬉しく思います。

毎年食事イベントには力を入れ、月に10回ほどゼリーの提供や喫茶、料理クラブなど開催しています。また、おやつ提供時に食堂に屋台を設置し、見た目も楽しんで頂けるよう工夫しています。今年度は新たな取り組みとして、食堂にいらっしゃる方だけでなくベッドから起き上がることが難しい方にも、屋台の雰囲気を感じながらおやつを召し上がっていただけるよう出張形式の企画を強化し実施していきます。



デジタル機器で業務の効率化と介護サービス向上を実現

1月下旬に、無線LAN工事を行いました。当施設は他の施設に先駆けてデジタル化を進めており、数年前から各種介護記録をiPadで入力できるようにしました。しかし、これまでは各階のケアセンターと食堂しか無線LANが飛んでおらず、その2か所での電子記録の入力が行えませんでした。そこで、今回の工事により、すべての場所でiPadが使えるようになりました。その結果、各種記録を全て電子化でき、業務の効率化や紙の削減に繋がりました。

また、2月初旬にはインカムを導入しました。インカムとは、マイクとイヤホン付の通信機のことです。インカムを導入することにより、ボタン一つ押すだけで、インカムを持っている職員全員に情報伝達ができるようにな

りました。その結果、情報共有や職員間の連携がスムーズになり、入居者への対応が素早く行えるようになりました。介護の人手業務を省き、これからも積極的に機器の導入の導入をしていきたいと思ひます。



1月～3月の行事風景



寒さに負けない楽しいイベントを今年もたくさん開催しました。

1月 初詣 お抹茶会

鏡開き 白玉ぜんざい作り



元旦・お正月では毎年恒例のイベント「お抹茶会」を各フロアにて開催し、おいしい甘酒やお抹茶を提供しました。また、施設内に手作りの鳥居と賽銭箱・絵馬などを飾り、正月気分あふれる楽しい空間ができました。入居者の方も大変喜ばれました。料理イベントでは白玉ぜんざい作りを行い、みなさん楽しんで白玉を作り、召し上がっていました。

2月 節分イベント

節分の日には職員が赤鬼、青鬼に扮して登場！入居者には豆の代わりにボールを投げっていました。



出張駄菓子屋

昔懐かしい駄菓子がたくさん並び、入居者の方に選んでいただき、召し上がって頂きました。密を避ける為、屋台形式で各階に回りました。



3月 ひな祭



1階玄関先に大きなひな段を飾りました。入居者も大変喜ばれ、1階まで一見に来て、記念に写真を撮りました。3月3日には昼食に雛ちらしが提供されました。皆さん美味しくいただきました。



日常のレクリエーション

さまざまなレクリエーション(リハビリ)を行っています。ここでいくつかご紹介いたします。



風船バレー



棒体操



習字



タオルひっぱりゲーム